

第 29 回 川西市展入選目録

特別賞 青木賞(市長賞)

現代美術の部

「CONNECTION」

箕原 侃子(堺市)



特別賞 平通賞(議長賞)

洋画の部

「早春のしらべ」

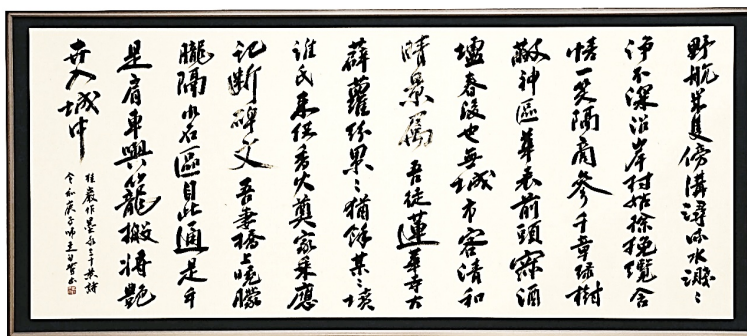
藤田 道枝(川西市)

特別賞 川西市美術協会賞

書の部

けいがんし
「桂巖詩」

酒井 白鷺(川西市)



部 門 洋画、日本画、書、彫刻・立体造形、工芸、写真、現代美術

入選作品、審査員の講評は市ホームページ内の動画でご覧いただけます。



市ホームページはこちらから

主催 川西市

洋画の部

一席 早春のしらべ

藤田 道枝



二席 待ち人來たらず

安田 賢二

三席 花の行方

淵上 登美

奨励賞 秋のルールマラン

淀井 多美子

奨励賞 レトロな街

川端 節子

奨励賞 鉄の産業遺産

井澤 茂明

奨励賞 祭りの青年

久田 泰子

奨励賞 月の記憶

早川 博唯

奨励賞 スマイル 2021

広瀬 敬三

奨励賞 裏路地

太田 連

奨励賞 ブライス・キャニオン

稲継 佳久

奨励賞 あんべしーる
Imbécile

霜月 真実

奨励賞 公園の楓

西 勝年

入選 秋の名残

東 幸芳

入選 輪廻

岡島 信博

入選 凜として

稲垣 泰造

入選 はとう
波濤

山本 良彦

入選 ゆうぶ
遊舞

河野 満

入選 ブルゴーニュの街角

田中 多美

入選 セーヌの黄昏

中山 正一

入選 森の詩

佐々木 俊二

入選 せいじんしき もね
成人式百音

松井 靖

入選 川西食堂

野村 和男

入選 2019年 お正月

遠田 悦子

入選 金魚のぼい

浦辺 民子

入選 豊かな愛

中村 俊子

入選 賑わい(台湾)

横川 武利

入選 野菜かごとインド人形

濱田 武文

入選 夏休みの公園

伊与田 真実

入選 三年坂

倉本 晋匡

入選 「箕面大滝の秋」

酒井 成之

入選 いこう
遺構

高井 勝

入選 ブルージュにて

二宮 恵子

入選 し
紫もくれん

黒田 公子

入選 湖畔にて

石田 貢

入選 平等院鳳凰堂風景

大山 美鈴

入選 ビーチカバナのディナー前

上野 利雄

入選 満福寺

芝 司信

入選 アンローダークレーンと工場

浦 政一

入選 小さな鉄橋と能勢電車

那須 久悦

入選 漁網

花井 紗代子

入選 雨とマスクとスクランブル

高須 栄一

入選 SHITAKU

島池 裕見子

入選 誇り高きバラ

岡村 信明

入選 夢の火祭

鈴木 美代子

入選 故郷のメロディ(涙ぐむ)

中西 三平

入選 思いでの城跡

中尾 昇二

入選 2046/AKI

新谷 栄二

入選 静寂

山中 秀夫

入選 どそう あおまだにひがし
土蔵・粟生間谷東

中島 広子

入選 いっぱく

坂口 和彦

入選 木洩れ日

前田 拓

入選 京菓子店

赤尾 正武

入選 運河の街・アムステルダム

宮澤 猛

入選 精霊

中本 通子

洋画の部つづき

講評 松村 一夫・大東 明宏

コロナ禍で制約の多い生活が続いておりますが、どの出品作からも、ウイルスの脅威を上回るエネルギーで立ち向う制作者の意気込みが感じられ、うれしく思いました。

一席の「早春のしらべ」は、画面全体を使い、その隙のない構成は、流れる水の勢いと、それを受け止める石の重さを見る人に感じさせます。石の表現もただ写実にならず、作者のフィルターを通した表現方法になっています。

二席の「待ち人来たらず」は、空が明るくなり間もなく雨が上がりそうなオフィス街が、1本の街路樹を中心に巧みに構成されています。また雨を含んだ路面は瑞々しく色彩豊かで、そこを歩く人々も生き生きと描かれています。

三席の「花の行方」は、光のレースに包まれ重なり合う花と、下から伸びるつぼみ対話しているかのようです。背後には、それを見守る月が輝き、物語が生まれるような作者の心象風景が表現されています。

日本画の部

一席 椿

道畑 常美



二席 三田うど

松本 敏子

三席 秋草

永井 光春

奨励賞 月下美人

板野 英子

奨励賞 向日葵

相田 季久乃

奨励賞 藤

植田 凱夫

入選 威風堂堂

久保 博義

入選 ^{へにつる} 紅鶴

米田 三枝

入選 冬の華

山本 富美子

入選 癒やしの細道

柴垣 傳子

入選 お人形

柚木 美恵子

入選 花笑み

森 弘恵

入選 お菓子の家

中本 通子

入選 千年前の極楽浄土

藤田 和弘

入選 春光

蒔野 加代子

入選 天候にわかになり雲走る

藤井 安雄

入選 母のみまもりいつか会える日まで 植田 公子

講評 曲子 明良・井上 美紀

一席の「椿」は、椿の樹を素直に描いています。花の赤をバランス良く配置して花以外の色はややおさえ気味にして空気感を表現している完成度の高い作品です。

二席の「三田うど」は、うどをモチーフにした絵でねらいが面白いと思います。色の感覚もよく、絵画としてのレベルの高さを感じます。

三席の「秋草」は、コスモス、ススキ、アワダチ草等、秋の草花を配置して秋を表現しています。技法的には、箔を張ったり、しわを付けたりして工夫をこらしている時間をかけた作品です。

奨励賞は、「向日葵」と「月下美人」と「藤」の3点になりました。「向日葵」と「月下美人」は共に良く写生してしっかり描いています。もう少し大きな画面で表現すればもっと良さが出ると思います。「藤」は水墨画で運筆の技術や墨の使い方がとても上手だと思います。やや型にはまっているのが気になります。もっと自由に描けばいいと思います。

書の部

一席 ^{けいがんし} 桂巖詩

酒井 白鷺



二席 ^{よろづ} 萬代を

高田 多恵子

三席 ^{こうほうそうし} 皇甫曾詩

伊藤 倅泉

(次頁に続く)

書の部つづき

奨励賞	<small>さかむらしんみんし</small> 坂村真民詩	川口 登美子
奨励賞	<small>しきかんげんはち</small> 思歸簡 巖八	小寺 翠恵
入選	五言二句	阪口 翠秀
入選	西郷隆盛遺訓	鍋倉 京子
入選	ときはなる	永田 由香
入選	<small>ちようえつとし ゆうしゅうやいん</small> 張説詩 幽州夜飲	深松 華夢
入選	四季	小田 美夕紀
入選	<small>ろりん し</small> 盧綸の詩	田中 紅扇
入選	<small>こうかくろう</small> 黄鶴樓	筒井 淳子
入選	<small>けいがんし よんしゅ</small> 桂巖詩四首	丹羽 好美
入選	五言二句	川岸 草閣
入選	<small>はくらくてん し</small> 白楽天詩	福岡 淳
入選	月夜	下村 友樹

講評 塚田 洵河・和田 英翠

今年、コロナの中、時間も逆に取れたのか、レベルの高い作品が揃ったのではないかと思います。全体には少し早書きの感。リズムを取りながら、線の強弱や、墨色の濃淡も作品には大切な要素だと思います。そうすれば作品の生きた線が、自然に生まれるでしょう。一席の作品は、多字数を行間も決まりよくまとめ上げてる作品です。二席かなの作品。白滝の水が流れる如く、感じました。三席、行間が少し気になりました。濃淡が弱いのと落款までしっかりと書いて下さい。来年に期待します。(塚田 洵河)

今年の作品は、審査の上で、皆様の熱意が伝わりました。一番大事な線の組み合わせと墨の入れ方、文字の大小を基本から、どの様に書にされているのか、一席「桂巖詩」は全体の流れが良い、二席「萬代を」は青墨でまとまりが良い、三席「皇甫曾詩」はバランスが良いが、あと筆を早く、ゆっくりをすればもっとメリハリがあつて良いのではと思いました。来年も、皆様の力作に、期待しています。(和田 英翠)

彫刻・立体造形の部

一席 希望 金 愛子



二席 和尚と雀 竹内 清

三席 さあ始めよう 神山 美登里

奨励賞 白フクロウ1/2(バード・カービング) 横山 豊

奨励賞 若葉の頃 細川 忠夫

入選 しゃがん はこ
赭岩の匣 堤 颯輝

入選 無音を行く舟 堤 響生

入選 だるまたいし
達磨大師 兵庫 豊

入選 それでも僕は飛ぶ。 神山 和也

入選 クラシックカー 則岡 道夫

講評 堀野 利久・長野 久人

今年、コロナの影響もありましたが、出品点数は例年と変化なく喜んでいきます。

一席の「希望」は、右目に不思議な付属物があり、胸は断崖のように荒い造形がされています。これらのバランスと顔の表情が清々しいです。

二席の「和尚と雀」は、雀が米をつつくところを静かに見ている和尚の思いが伝わってくる物語を感じる良い作品になっています。

三席の「さあ始めよう」は、これから立ち上がって歩もうとする若者の内面が、ゆるやかな筋肉の動きから伝わってきます。

奨励賞の「若葉の頃」は、最近のコロナ禍に対する思いと、それを乗り越えようとする気持ちが、締まった口元から感じられました。奨励賞の「白フクロウ1/2(バード・カービング)」は、細かな細工も美しく柔らかい表現や顔をかしげ見つけているほほえましい表情に惹かれるよい作品です。

工芸の部

一席 郷土玩具 大橋 美知子



二席 2つの物語 乾 恵

三席 ちょうれいべしめ 長霊癒見 森島 紀明

奨励賞 かわにし夢絵巻 真柄 あゆみ

奨励賞 ゴンドラ・花、運ぶ少年 権藤 二三子

入選 若武者 堂見 和子

入選 紅葉 梅崎 裕美子

入選 夜桜(行灯) 中田 千鶴子

入選 晩秋の輝き 加藤 高志

入選 宝石箱 荒木 三郎

入選 さそり 蠍 宮路 都羽

入選 悠久 西島 陽公

入選 無愛想な美人 植山 和美

入選 俺の青いアポロン飛行隊 山下 勝

講評 北島 桂子・熊本 一哉・泊里 涼子

一席「郷土玩具」は、審査してきて、初めて刺繍の作品を拝見しました。作者の伝統に対する畏敬の念と、玩具に対する深い思いが感じられ、それを表現する確かな技術の集結として素晴らしい作品となりました。満場一致で第一席となりました。

二席の「2つの物語」は、いつもとても楽しい作品で楽しみに会いに来ますが、今年作品は暗い色調が多く、この時期、明るい色調にしてもらえれば、もっと見る側が希望をもって楽しくみられる作品になったと思います。ただし、細かいところに少しの気を抜くこともなく取り組まれていることは素晴らしいです。今後も期待しています。

三席の「長霊癒見」は、大変な労力を費やして制作されたことと思います。丁寧で細やかな作業を重ねられていることが作品から伝わってきます。恐ろしい形相の能面ですが、よく見ると愛嬌もあり、しばらく眺めていると、可愛らしくも感じられてきました。また、他の能面に挑戦された時、どんな表情が生まれるのか楽しみです。

写真の部

一席 日常の裏側 三吉 孜



二席 初冬 馬場 和正

三席 ソーシャルディスタンス 成平 博

奨励賞 老木死せず 大橋 豊

奨励賞 煌めくとき 山辺 幸男

奨励賞 春の唄 薄井 研司

奨励賞 別世界 本田 健二

奨励賞 飛翔(おしどり) 田中 善

奨励賞 朝練 上月 正美

奨励賞 帰ろかな 福田 和央

奨励賞 Affection ~ 慈愛 ~ なかにし 宏明

奨励賞 凍滝 木下 勇

奨励賞 春雪歡喜 岡田 秀雄

奨励賞 Shall We Dance 桑原 実

奨励賞 風の痕 宇田川 洋二

奨励賞 北の国から 松本 進

奨励賞 夕景の舞 安達 晴記

奨励賞 霧夢 清水 晴夫

奨励賞 気合い朝練春うらら 仁井田 精司

奨励賞 追儼式 佐藤 千鶴子

写真の部つづき

入選	祈り	武田 昇	入選	start up	清水 和義
入選	あいさつに	武田 一美	入選	落日海峡	森田 八十八
入選	My Favorite Thing	阿部 信夫	入選	冬支度	羽田 範子
入選	独り占めの朝	北村 敏雄	入選	祈る	上柳 恒雄
入選	捕獲	永野 晃造	入選	虹色光線	四宮 泰樹
入選	青春爆発！	牧 孝三	入選	只今、自肅中	菅野 みね子
入選	街の顔	有瀬 清美	入選	希望あふれる朝	西島 陽公
入選	原風景	芦田 芳郎	入選	寺内町Kids	藤本 昌平
入選	紅葉の水辺	桑名 弥栄	入選	うたた寝	岡本 嘉代子
入選	犬の家族	池園 厚	入選	渦を抜けて	岡本 喜美雄
入選	空に向かって(エドヒガンの森)	長沼 利彦	入選	秋奏	池本 泰博
入選	開店前	宮脇 雪子	入選	港の華	濱口 榮司
入選	オロチ雲出現の夕べ	常木 良一	入選	フィーバー	竹本 賢一
入選	ギャル	江口 裕治	入選	明治～令和をかける	中塚 義昭
入選	応援	吉原 和孝	入選	緑陰	田中 孝
入選	はんげあめ 半夏雨	植良 隆文	入選	眼差しの先にあるもの	山田 正人
入選	夢	石津 祥子			
入選	比翼の鶏	松尾 隆子			
入選	妖精の足跡？	木村 公子			
入選	昼の顔	天井 博章			
入選	壁の風景	松田 正康			
入選	デュエット	前田 弘志			
入選	追憶	古川 和男			
入選	人形浄瑠璃	梅崎 光政			
入選	幸せいっぱい	藤岡 つよかず			
入選	朝の鼓動	太田 茂範			
入選	みょうけんしだれ 妙見枝垂	日下部 一一			
入選	孤独	春元 昌三			
入選	希望への架け橋	畝村 豊明			
入選	雑魚は頂き！	西村 謙之助			
入選	秋、燃ゆ	森島 紀明			
入選	風に吹かれて	名越 章			
入選	木像美	清水 潤三			
入選	出合い	板野 宣正			

講評 大亀 京助・古家 輝雄

コロナ禍での写真部門は、日常から創出したスナップ作品や様々な技法や個性的視点で表現した作品などジャンルを問わない自由独創的で応募者それぞれの想いのこもった多様な作品が応募されました。

一席「日常の裏側」は、3枚の組作品ですが、タイトルにあるように何でもない日常の生活空間を、作者の鋭い視点で切り取られ、格調高いドキュメンタリーとして完成度は高いです。個々の作品も自動車、子ども、屋内(靴)等それぞれメッセージ性が明確です。

二席「初冬」は、日本の農山村の原風景を見るような作品で、和瓦屋根の建物民家の庭先で作業する人物と共に捉えられた情景なのですが、煙が人物と建物を柔らかく包み込んで何気ない日常から抽出した風景の記憶が留められています。

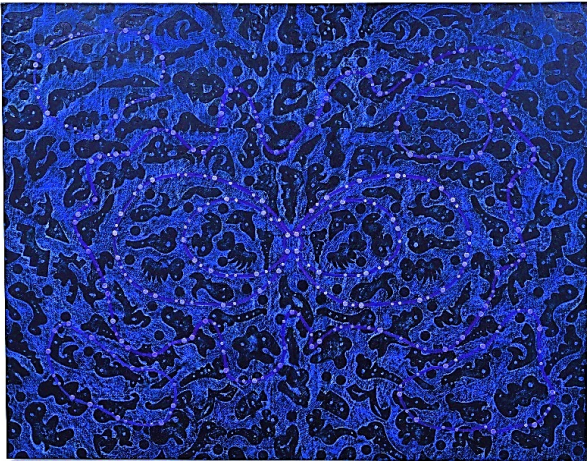
三席「ソーシャルディスタンス」は、水辺の木立で休む白サギ群と水面の映り込みを情景豊かに表現されている。白サギの配列の水鏡を意識した構成で、アンダー気味の露出によって幽玄な世界を感じさせています。

それぞれ入選作品の表現力は秀逸で審査員の評価も一致しました。また奨励賞もいずれも格調高く、作者の鋭い感覚の個性あふれる作品を選出することができました。

現代美術の部

一席 CONNECTION

簗原 侃子



二席 はかなき期待

鈴木 基光

三席 幻想

高坂 孝子

奨励賞 ふわっと一回転

赤木 政則

奨励賞 捕獲器(大震災後も夜が明けるNo.91) Ms & Mr シュウ

入選 飢渴

松浦 良明

入選 夜明け前に

畠山 忠美

入選 The Air 212

西川 輝彦

入選 記憶。蜘蛛の巣張るくらいの。80年代 Atelier Madoka

入選 あしたへ

柚木 美恵子

入選 制作途中です。

石田 貢

入選 春よ来い!

竹中 豊秋

入選 和2021

高野 暢子

入選 よどみの詩

塚本 秀之

入選 Separation Amorphous

松村 大地

講評 高田 雄平・森 倫章

今年度は作品のレベルが均衡していて、各作家の試行錯誤を感じました。

一席の「CONNECTION」は、同系色で整えられていて、引き込まれる印象の強さがあり、完成度が高い作品です。

二席の「はかなき期待」は、画面の構成が綺麗で静かな動きがあり、目にしたら気になってしまう作品でした。

三席の「幻想」は、緻密で繊細。ゆっくりとした時間の流れがあり、力強さを感じられる作品です。こよりの強弱の使い方があれば、よくなると思います。

奨励賞の「ふわっと一回転」は、色彩が豊かで楽しい作品です。作品の構成に動き、リズムに工夫があれば完成度が向上すると思います。

奨励賞の「捕獲器(大震災後も夜が明けるNO.91)」は、使用されている玩具の表現がおもしろく、その中に過酷なイメージを感じました。空間の余白に存在感を持たせると、さらに良くなると思います。

各部門審査員

(順不同、敬称略)

<洋画>

松村 一夫・大東 明宏

<日本画>

曲子 明良・井上 美紀

<書>

塚田 洵河・和田 英翠

<彫刻・立体造形>

堀野 利久・長野 久人

<工芸>

北島 桂子・熊本 一哉・泊里 涼子

<写真>

大亀 京助・古家 輝雄

<現代美術>

高田 雄平・森 倫章

特別賞審査員

川西市長

越田 謙治郎

川西市議会 議長

平岡 譲

川西市美術協会 会長

鳥居 夔

(公財)宝塚市文化財団 理事

大野 良平

川西市市民環境部長

岡本 匠

特別賞について

特別賞の青木賞、平通賞は、昭和を舞台に活躍された川西ゆかりの芸術家に因んで名づけられました。

青木賞は、青木大乘（あおき だいじょう）画伯の名前をいただきました。青木画伯は、明治24年大阪に生まれ、新燈社洋画研究所、卯木に大日美術院を開き、洋画から日本画へと世界を広げました。戦後、川西に移り住んで創作活動を続け、昭和54年に亡くなりました。

平通賞は、平通武男（ひらどおり たけお）画伯に因んでいます。平通画伯は明治40年大阪に生まれ、新燈社にて青木大乘画伯に師事。東光会審査員から日展審査員へと洋画の世界で活躍を続け、戦後は川西に住まわれ、日展参与となられた後、平成3年に亡くなりました。

両画伯のご遺族により、川西市に青木大乘画161点、平通武男画146点の絵画が寄付され、川西市郷土館内に両画伯の記念館「ミュージー レスポアール」が平成7年に開館し、両画伯の絵画を鑑賞できます。

また、第25回川西市展時に川西市美術協会賞を新設し、青木賞、平通賞と同じく一席の作品の中から選出しています。

第29回川西市展応募状況等

部 門	出品点数	入選点数	入賞点数
洋 画	66	55	13
日 本 画	17	17	6
書	16	16	5
彫刻・立体造形	10	10	5
工 芸	14	14	5
写 真	110	70	20
現代美術	15	15	5
合 計	248	197	59